

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R3・6・3
			No.12

今から439年前の昨日(6月2日)、本能寺の変が起きました。明智光秀は「敵は本能寺にあり」と、主君である織田信長を襲いました。そのとき信長が引き連れている軍勢はわずかで、信長は「光秀ならば是非もなし(仕方がない)」と言って自害したそうです。

信長は鉄砲という新しい武器と大胆な戦術を使って、天下統一に向かって突き進んだ人物です。同時に、楽市・楽座という制度を定めたり、関所の廃止などの政治を行い、当時の古いものをぶち壊し、新しい世の中を実現しようとしていました。また、将軍を京都から追い出したり、反対する者はどんな手段を使っても滅ぼしました。お寺を焼き払ったりもしました。これに対し、光秀は、将軍や朝廷など日本の政治体制を尊重する政治をめざしていました。

なぜ、光秀は天下統一を目前にした、しかも主君である信長を亡き者にしようとしたのでしょうか……。いろいろな研究があるそうですが、本能寺の変は、このお互いの考え方の違いから起きたという説もあります。

今の日本では、考え方が違って選挙で戦います。命の奪い合いにはなりません。しかし、世界に目を向けるとどうでしょうか。考え方の違いから、同じ国の中でも命を奪い合ったりしていることもあります。グローバル化といって国境を越えて人々が簡単に行き来できる時代です。言葉も風習も違う人々がお互いに歩み寄り、共に平和に生きていくことが求められる時代です。考え方が違うのはあたりまえ、お互いに相手を尊重して生きていくことが大切です。

話が大きくなってしまいましたが、このことは、みなさんの普段の生活にもそのままあてはまります。一人ひとり違うのはあたりまえ(個性です)、お互いが尊重し合い、認め合って生活することができるみなさんを見て、いつもうれしく思っています。



がんばってください

おめでとうございます



令和3年度歯・口の健康に関する
 図画・ポスター及び標語
 有田地方審査結果

特選【標語の部】

おばあちゃん 元気のひけつは 歯の力
蜂谷 莉子

6月5日(土)に開催される「少年メッセージ2021有田地方大会」に箕島中学校から3名のみなさんが出場します。

- 1年 福島 莓「笑顔にする言葉」
- 2年 中村望愛「人との関わり合いのなかで」
- 3年 楠瀬心美「共に生きる」